

要請番号 (JL03018B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミャンマー	G120 バドミントン		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

スポーツ体育研究所、ヤンゴン

3) 任地 (ヤンゴン) JICA事務所の所在地 (ヤンゴン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はエリート選手や指導者の育成、スポーツ研究を目的に1992年設立された。25種目に分かれた約500名の11-17歳の生徒を対象に通年トレーニングを実施している。各競技のトレーニングは主に早朝および夕方にそれぞれ2時間程度実施され、選手たちは日中は学校に通っている。地域のスポーツ団体コーチの研修、小学校教員への体育研修などのコースも開設されている。学科教員約20名、各種競技コーチ約40名、その他職員約140名が勤務している。年間予算は約1億円。JICAボランティアは、2016年から体育の短期シニア海外ボランティア(SV)を派遣。現在は、体育のSVと陸上競技の青年海外協力隊(JV)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、2年毎に開催される東南アジア競技大会に代表選手として出場するエリート選手の育成を目的の一つにしている。練習は主に早朝と夕方にそれぞれ2時間程度行われ、選手たちは日中学校に通っている。一部外国人コーチが指導している種目もあるが、多くは元々選手であった現地人コーチが指導を行っている。コーチのほとんどは指導者になるために特に訓練を受けているわけではなく、現代的な手法でのトレーニングは行われていない。バドミントンについては、これまで国際大会での目覚ましい活躍はなく、将来より良い成績をあげるために選手育成を目的としたボランティアの協力が求められて本要請が提出された。そのため、ボランティアは直接選手たちを指導しながら、コーチの指導技術向上に向けたサポートも必要になる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚コーチと協力しながら、配属先の一員として以下の活動を行う。

- 1.競技力向上のための技術指導を行う。
- 2.さまざまなトレーニング方法を紹介し、コーチの指導技術向上をサポートする。
- 3.トレーニングカリキュラムの立案・策定をサポートする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体育館使用コート2面、その他トレーニング機器

4) 配属先同僚及び活動対象者

所長:男性、50代

同僚コーチ:男性1名、競技経験20年、指導経験8年

指導対象選手:男子5名、女子6名(13歳~17歳)

5) 活動使用言語

ミャンマー語

6) 生活使用言語

ミャンマー語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（指導経験）3年以上 備考：コーチへのサポートも行うため

[参考情報]：

- ・または競技経験6年以上で地区大会出場程度

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（17.0～37.0℃ [電気]：（不安定）
位）

[水道]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

【特記事項】

要請職種指導資格を有すると尚良い。配属先敷地内の宿舎に居住する。任国の査証手続きにより、他国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。